

(参考) 国内資源由来肥料の需給マップの作成を目指す

供給可能量マップ



色の濃淡で畜産堆肥の供給可能量(試算)を判別

※飼養数により作成

需要量マップ

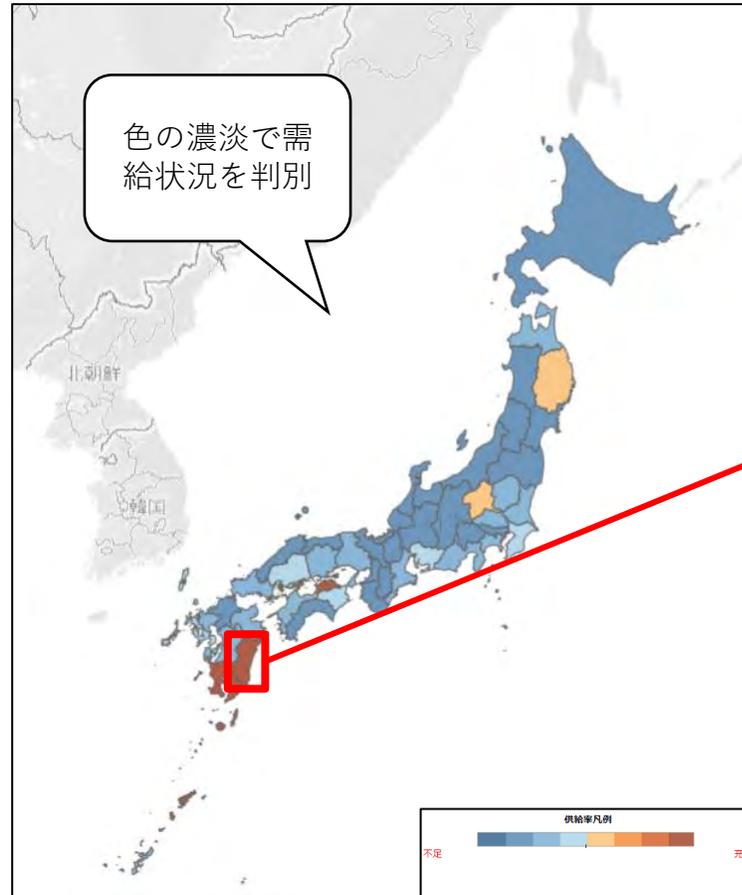


色の濃淡で肥料供給量(試算)を判別

※耕地面積により作成

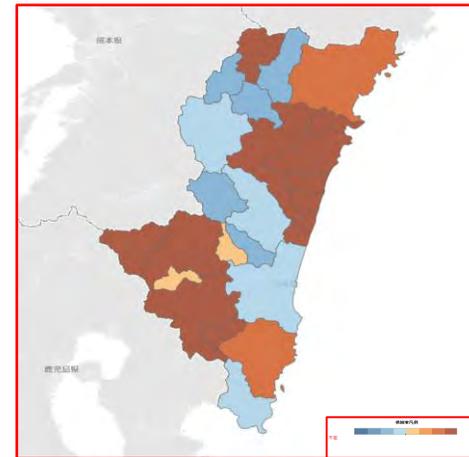
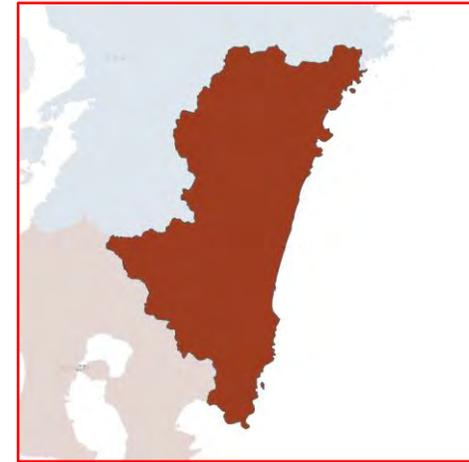
需給ポテンシャルマップ

※県施肥基準と県別耕地作付面積より作成



例：宮崎県

都道府県別のみでなく、市区町村別でもマップ化



堆肥等の供給パターン

堆肥・コンポスト利用

① 地域内農家

- ・域内の堆肥センターや畜産業者から入手可能
- ・域内から品質管理された下水汚泥肥料が入手可能



バラ搬送

バラ堆肥

② 近隣域外農家

- ・地域に畜産業者がない
- ・下水汚泥の肥料化がされていない



堆肥袋詰品



フレコン流通



堆肥ペレット

原料利用

② 肥料メーカー

製品の広域供給



堆肥入り化学肥料

令和7年度取組方針

家畜ふん堆肥、下水汚泥コンポストのマップ化を行い、各自治体において、それを活用した資源活用方針(仮)の作成検討を促す

当面のスケジュール（案）

令和7年

3月

■ 幹事会会合

- R7年度の具体的な取組内容の検討

■ 関連施策・関係者による取組等の情報発信（随時）

4月以降

（順次）

■ マッチングフォーラムの開催のほか、都道府県段階でのシンポジウム・交流会等の実施支援

■ 第2回国内肥料資源活用アワードの実施

■ 第4回全体会合

- 取組実績の報告
- 関係団体・事業者の取組紹介
- 今後の取組の方向性検討

年度内

■ 幹事会会合

- 具体的な取組内容の検討

令和7年度取組方針（案）に関するお問い合わせ先

- 令和7年度取組方針（案）についてご意見等がある場合には、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ご意見等は、令和7年2月7日（金）までをお願いいたします。

担当：国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会事務局（農林水産省農産局技術普及課）

TEL：03-6744-2107

E-mail：zenkoku_kyogikai@maff.go.jp